

またも 人事権乱用の異常事態発生・・・ 年度毎に二名の分会長が次々転勤！ 組合差別・不当労働行為と断定できる本人希望無視の 人事異動を絶対に許さない！！

昨年、秋の面談で本人の希望は、2年前の面談まで希望してきた内容とは異なり、年齢的な面と組織的な立場を組して、それまでの面談の内容を白紙にして、現箇所を本人希望として主張してきた。にも拘らず、今回の異動は、本人の働きがいは基より、職場の仲間のため、水郡線の将来を考えて判断してきたことを汲み取らず、希望を全く尊重しない異動を会社は行った。

これまで、本人が希望してきた内容を全く尊重せず、数年間放置し、今回の異動は直近の面談で主張してきた内容とは、真逆の人事異動であることが明らかとなりました。今回のように、毎年行われる秋の面談等で生活設計や家庭環境を鑑みて一人一人が真剣に悩み考えて望んでいるにも関わらず、それが尊重されていないことに強い憤りを感じざるをえません。

※真実と本人の叫びは以下の通りです。

【S分会長の異動に伴う「簡易苦情処理」の内容】

一点目は30年近くにわたり、全ての面において面談で伝えてきた希望が反映されることなく真逆の人事が貫かれてきたことです。配属直後から一貫して水戸運輸区への異動を希望してきましたが、それが叶うことはありませんでした。10年が経過して以降、「このままでは人としても腐ってしまうしななら成長できないまま終わってしまう」と危機感を抱き、異動時期はいつでも、配属箇所はどこでも、と記入。「40、50代になってから未経験の線区に配属されてもやっていける自信もない。水戸支社で生きていくために常磐線を経験しておきたい」と言い続けてきました。

20年が過ぎ、気付けば用紙からはそれらの項目が初めから存在しなかったかのように削除されていました。自己申告書とはいったい何だったのか？何のために毎年面談をしてきたのか？全く理解できません。前回の面談では「同居の両親も高齢であり、私自身もすでに異動を望むような年齢ではない。組織的にも分会執行委員長という立場だ。異動は希望しない」と宣言しています。長きにわたり持ち続けてきた意欲をことごとく潰されてきました。失意の中でも会社を愛し、水郡線にしがみつき、職場のために半生を費やしてきました。もはや自分の存在意義とも同義であり、いま水郡線を離れることを考えると全身が引きちぎられるような思いでもあります。入社から現在に至るまでの全てが希望と正反対の、**今回の発令についても到底納得できるものではありません。**

二点目はあまりにも無責任な現場長の発言があったことです。現場長から「意識付け」と称して今回の話を受けたとき、「なぜ土浦なのか」と問いました。回答は「ベテランで力量もあるし」「また首都圏輸送で頑張ってもらいたい」「私もまだよく聞いてないので」というものでした。あまりにも無責任な回答に心底がっかりしました。これまでも退職される方へのそっけない態度に憤りを感じていました。

部下として働く社員があまりに報われません。「よく聞いていない」ということからすれば、これらの発言が現場長自身の考えであることは疑いようもありません。軽々しく「ベテランだから」などと言われることには憤りしか感じません。これまで水郡線で積み上げ、身に着けてきた経験としみついて離れない所作は常磐線では逆に足を引っ張ることになります。ゼロどころかマイナスからのスタートであり、足枷にしかありません。さらには異動先である土浦運輸区での教育体制にも不安しかありません。なぜなら私の記憶では水郡線から車掌の異動は初めてのことであり、前例がないからです。そういった背景もかえりみることなく、「また首都圏輸送で頑張ってもらいたい」などと軽々に言われて何をどうしろというのでしょうか。**今となっては無神経すぎる発言に怒るよりも呆れています。**

以上の事から、発令を承服できない為、簡易苦情処理の申し立てを致します。

**本人希望を無視し、組織の弱体化を目的とした人事異動は許さない！
そして、社員と家族の幸せを実感できない異動は即刻辞めろ！！**